平成30年度

中央区まちづくり推進事業（報告）

新たな出会いと未来創造の都会（まち）

～つながる、中央区。～

目　次

（1）　中央区地域リーダー応援事業……2

（2）　中央区校区の魅力発見発信事業（近未来キャラバン）……4

（3）　水前寺賑わいづくり支援事業……5

（4）　中央区まちづくりスクール事業……6

（5）　LINE 講座事業……8

（6）　坪井川遊水地を生かしたまちづくり推進事業……10

（7）　お互いさまのまちづくり事業……11

（8）　中央区から糖尿病を減らそう事業……13

（9）　中央区地域防災支援事業……15

（10）　みんなのまちづくり情報発信事業……17

（11）　中央区スポーツ交流事業……18

（12）　中央区地域コミュニティづくり支援補助金……19

（13）　中央区まちづくり懇話会……21

事業No.1

平成３０年度事業報告（中央区まちづくりセンター）

中央区地域リーダー応援事業

１　事業実施内容

地域活動の担い手育成と同時に、自治会長等地域リーダーの負担軽減を目的として、マンネリ化した会議からの脱却、会議時間の短縮、当事者意識の醸成を目的として、活発な意見、議論ができる会議の進め方、合意形成の手法を取得する講座を実施した。

（内容）自治会長等地域リーダー向け「会議の進め方」講座
（日程）平成 30 年 12 月 11 日（火）
午前の部：９時 30 分から 12 時 30 分
午後の部：14 時から 17 時
（場所）市役所 14 階大ホール
（参加者）午前の部：29 名
午後の部：26 名

２　事業の成果

- 個々の地域会議における課題の共有
- 実践につながる、会議の進め方のスキル習得
- 地域会議運営における負担軽減につながる役割分担の意識付け
- 会議の場で起こりやすい心理的作用とその対応策の習得









３　次年度に向けて

今年度は地域で行う会議の進め方についての講座を開催したが、次年度は、地域から要望が多かったパソコンやスマホのスキルアップ講座を開催し、引き続き地域活動の負担軽減を図っていく。

事業№.2

平成３０年度事業報告（中央区まちづくりセンター）

中央区校区の魅力発見発信事業

１　事業実施内容

⑴　事業内容

自治会や企業、店舗を「地域のお宝（魅力）」として位置づけ、子供たちによる取材・撮影・ＨＰ作成・地域へのプレゼンまでを地元プロ講師が密着講義することで「企画力」「ものづくりを通しての地域との繋がり」を学びながら地域のお宝（魅力）を発見・発信するもの

⑵　会場　大江公民館
　　大江校区公民館
　　デジタルハリウッド STUDIO 熊本

⑶　実施期間　平成３０年７月２２日（日）～平成３０年８月２６日（日）

⑷　実施回数　全５回

⑸　参加者数　小学生　３０名

２　事業の成果

①小中学生の情報発信による子育て世代等への地域の魅力をアプローチ
②地域の方々（自治会や企業、商店等）と子ども達のつながり作り
③自治会活動の地域への情報発信ツールの形成
④キャリア教育のひとつとして地元企業の魅力を子ども達に伝える



子ども達自ら取材します



地元企業のプロ講師から講義を受けます



作られた WEB ページは地域で活用しています。

３　次年度に向けて

・地域の情報発信の手法としてホームページ等のデジタル素材を用いることで幅広い世代への発信が可能となった。
・近未来キャラバンにおいて多くの企業の参画を受け、ひとつの目的達成に向け地域、学校・企業・行政が連携した事業内容となった。

事業№.3

平成 30 年度事業報告（中央区まちづくりセンター）

水前寺賑わいづくり支援事業

１　事業実施内容

（1） 事業内容

中央区「水まち水前寺～春・夏・秋・冬～」をテーマに、平成 26 年度より水前寺界隈の活性化に向けた地域の取り組みを支援するもので、水前寺界隈を巻き込んだ祭りを区民と行政が協働して開催。

（2）日程

・にぎわい祭り事前告知パレード
平成 30 年 10 月 26 日（金）
場所：九州記念病院前～JR 水前寺駅～戸井の外公園入口

・にぎわい祭り
平成 30 年 10 月 28 日（日）
場所：戸井の外公園

・来場者数
約 10,000 人（パレード及び祭り当日のトータル数）

２　事業の成果

① 水前寺界隈のまちの賑わいを創出。
② 湧水と歴史のまち「水前寺」の魅力向上。
③ 希薄化している地域住民相互のコミュニケーションの活性化。
④ 地域 PR ブース設置による校区間交流の活発化。







３　次年度に向けて

・地域主体の移行に向けて、H29 年度まで中央区にて行っていた事務作業については、今年度地域へ移管済み。今後、事業費の捻出手法等、事業企画も含め整理・検討を行っていく。

事業№.4

平成３０年度事業報告（中央区まちづくりセンター）

中央区まちづくりスクール事業

１　事業実施内容

将来のまちづくりの担い手（人材）育成を目的とし、地域や自治会との関係性が希薄な中学生自らが、身近な社会（地域）課題を見つけて、チームで解決策を考え企画し、プレゼンテーションを通して、如何に人の心を動かし、どう社会を変えていくかを体験する。

（日　程）平成３１年２月２日（土）、３日（日）
（場　所）市役所駐輪場８階会議室
（参加者）中学生１２名

２　事業の成果

・身近な社会課題や困りごとを、早期に自分事として捉え、自分達のすむまちをより住みやすい環境に変えていく意識の醸成。
・チームで課題解決策を検討することで、協働する力、人を巻き込む力を育む。
・ポスターセッションにより、プレゼンテーション力を習得する。
・日常生活での実践や、社会課題を解決していく高い動機付けにつながる。






３　次年度に向けて

参加した中学生や学校関係者等からの反応も高く、継続して実施予定。より、参加しやすい時期の設定や、効果的な周知方法を検討していく。

事業№5

平成３０年度事業報告（中央区まちづくりセンター）

LINE 講座事業

１　事業実施内容

（１）事業内容

熊本市公式LINEで発信する地域情報ならびに行政情報を地域コミュニティの活性化、有事の際の地域力・防災力の強化など、市民生活の中で幅広く活用していただくため、情報取得に向けた登録の促進及び必要な知識の習得を目的とする。

具体的な内容は、公民館における他の主催講座と同様に、HP や市政だより、公民館だよりにより講座募集を行い、LINE の登録やメッセージの送受信等基本操作の習得。熊本市の公式 LINE の登録・活用までの講座を実施した。

（２）日程等

・大江公民館（全３回）

日　時　　９月４日・７日・12 日　午後２時～午後４時

場　所　　大江公民館

参加者　　14 名

・五福公民館（全３回）

日　時　　９月 21 日・26 日・28 日　午前 10 時～正午

場　所　　五福公民館

参加者　　14 名

２　事業の成果

両公民館とも、15 名定員で公募したが、数日で定員を超える申込があり、抽選により受講者を決定。LINE に対するニーズが伺えた。

【受講者アンケート】

- 全くの初心者で孫からの写真とメールの為に携帯（ガラケイ）と併用しているだけで、iPad の仕組みや応用が分からず、皆さんについて行くのが大変でした。最終日３日目でやっと少し分かりました。
- 講座を市政だよりで知りましたが、中央区だけです。その他の区でもやってほしい。

- 長年悩んだ末、スマホデビューしました。そこへ LINE 講座があるとの話し、即申込、受講させて頂きました。無料もうれしい。市の方もありがとうございました。
- タブレットでインターネットを始めて 1 年になります。世界が変わる程の衝撃でした。私たち年配者こそインターネットをすべきと思います。





３　次年度に向けて

受講者アンケートや応募者数からも分かるように、スマホや LINE の使い方についてのニーズは高いと思われる。地域活動の更なる負担軽減に向けて、次年度も講座開催など引き続き支援していく。

事業№.6

平成３０年度事業報告（中央区まちづくりセンター）

坪井川遊水地を活かしたまちづくり推進事業

１　事業実施内容

坪井川遊水地における公共空間（河川区域）を活かしたまちづくりを推進するため、河川管理の規制緩和や制度改正について広く市民に周知するとともに、公共空間（河川区域）の新しい活用方法を探るため、市民・企業などによる未来志向のセミナーを開催した。

２　事業の成果

（今年度の成果）

グッドデザイン賞 BEST100 にノミネートされるなど全国的に知名度の高いミズベリングの協力により、企業などの事業者の参画も促され、地域住民だけでない、多様な主体によるワークショップとなり、今後の坪井川遊水地の利活用推進に向けて、多様な人材の発掘のきっかけとなる有効な事業となった







３　次年度に向けて

・河川空間の利活用に向けて、協議会の立ち上げを目指し、地域・民間企業・県・市等による勉強会を継続実施。
・エリア内での社会実験を行いながら事業化に向けての取り組みを推進

事業№7

平成３０年度事業報告（福祉課）

お互いさまのまちづくり事業

１　事業実施内容

　中央区で進めている地域包括ケアシステムの構築に向け、その必要性や課題、方向性について学び共通認識を持つための研修会を開催

① 行政職員が地域包括ケアシステム構築について理解を深め、区全体で取り組むという共通認識を持つための区関係課職員を対象とした研修会
② 高齢者を地域で支える仕組みづくりについて考える機会を設け、地域包括ケアを広く普及啓発するための地域住民を対象とした講演会

２　事業の成果

① 中央区地域包括ケアシステム職員研修会
　平成３０年７月２０日（金）午後４時～
　講師　熊本学園大学社会福祉学部准教授　黒木邦弘　氏
　中央区職員等４６名参加





「具体的な取り組みを見ることでイメージがわいた。」「地域包括ケアシステムについて学ぶよい機会なった。」「住民それぞれが役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニケーションの育成が大切と思った。」などの感想が聞かれた。

② 中央区お互いさまのまちづくり講演会
平成３０年１０月１日（月）午後２時３０分～
講師　熊本学園大学社会福祉学部准教授　黒木邦弘　氏
民生委員・児童委員他１５７名参加





「わかりやすかったです。地域包括ケアシステムにさらに興味がわきました。」「まずは集まる場所をつくり、集いから生まれる関係から助け合いに発展していくことを実感した。」「住み慣れた地域で最期まで住み続けることができるよう自分自身が努力したい。」などの感想が聞かれた。

事業№.8

平成 30 年度事業報告（保健子ども課）

中央区から糖尿病を減らそう事業

１　事業実施内容

中央区の医師で構成された「健康をつくるボランティア医師の会（けんつく会）」等と連携し、高血糖傾向にある区民の生活習慣を早期改善し、糖尿病の発症と重症化を防ぐため、糖尿病対策教室（健康フィットネスクラブ）を実施した。

（１）けんつく会協力医療機関で随時血糖検査の実施

実施期間：5/14～8/31
検査者数：354 人
検査結果：　正　常（140mg/dl 未満）　　：292 人
　　境　界（140～200mg/dl）　　：　55人
　　要医療（200mg/dl以上）　　：　　7人

（２）校区イベントで簡易血糖検査の実施

実施期間：7/28～11/25
検査者数：380 人
検査結果：　正　常（140mg/dl 未満）　　：302 人
　　境　界（140～200mg/dl）　　：　65人
　　要医療（200mg/dl以上）　　：　13人

※　（１）、（２）共に要医療者には、糖尿病連携医を紹介。
また、境界者については、健康フィットネスクラブへの参加を勧奨し、生活習慣改善のための情報提供を行った。

（３）糖尿病対策教室（健康フィットネスクラブ）の実施

実施期間：前期　7～９月、後期　１０～１２月
参加者数：３２人（前期：15 人、後期：17 人）
実施内容
① 市総合体育館で個別運動プログラム（週１回）の実施
② 保健師による個人目標の設定・目標実現に向けた支援
③ 管理栄養士による食事指導

※　（３）の参加者に対して、教室終了後の生活習慣改善を促すため、糖尿病専門医による研修会を開催し、継続的な支援を行った。
開催日時　：31 年２月６日（水）
研修会内容：医師講話、ヘルシーメニューの試食、ストレッチの実技等

２　事業の成果

幅広い年齢層の区民に対し、血糖検査を実施することで、糖尿病予防のための意識向上を図った。

また、境界者に対して糖尿病予防のための運動・食事を学ぶ場を作ることで、生活習慣の改善を行った。

３　次年度に向けて

糖尿病予備軍の区民に対し、生活習慣改善のアプローチを行ったが、次年度は幅広い区民の健康増進につながる事業を計画。

事業№9

平成３０年度事業報告（総務企画課）

中央区地域防災支援事業

１　事業実施内容

（１）中央区そなえる防災講座

内容　　風水害、火災や地震など防災に関する講座及びワークショップ

① 大雨防災シミュレーション　その時どうする？
② 知っておきたい火災予防
③ 戦国～江戸時代の熊本における戦乱と災害
④ ペットのための防災対策
⑤ 災害時の地域連携
⑥ 災害時に必要な「食」の備え

日程　　平成 30 年８月～平成 31 年１月まで

場所　　くまもと県民交流館パレア

参加者　参加者：延べ 144 名（全６回終了）

（２）中央区防災支援メニュー

内容　　中央区総務企画課防災担当職員による「防災出前講座」「地域版ハザードマップ作成」「新聞やビニールで防災グッズづくり」
中央消防署と連携した「ＡＥＤ体験・救命救急・消火器体験」
「自主防災クラブ設立・活動支援」

日程　　要望に応じ随時開催

場所　　要望のあった地域や団体指定場所

実績　　平成 31 年１月 31 日時点

防災出前講座	19 回(参加者延べ約 1,097 名)
地域版ハザードマップ作成	６団体（作成中含む）
校区等防災行事への参加	14 回
自主防災クラブ活動支援	７回

（３）中央区親子ぼうさい教室

内容　　子ども・保護者向けの防災に関する参加型のワークショップ
日程　　平成 31 年３月 27 日（水）
場所　　熊本市総合体育館・青年会館　料理室
参加者　親子 20 組（予定）

（4）その他（市民防災啓発に係る物品等の購入）

２　事業の成果

① 個人、親子、町内などの防災・減災に役立つ知識の普及
② 自助・共助における災害対応力の向上
③ 居住地域の災害危険箇所、避難場所等の把握と防災の意識付け
④ 地域と行政との情報共有・交流による連携強化
⑤ 地域内での「顔の見える関係」づくりによる地域の災害対応力の強化

	
そなえる防災講座	そなえる防災講座

	
地域版ハザードマップ作成	地域版ハザードマップ作成

３　次年度に向けて

市民、校区団体等からの需要も高いため、今後も地域ニーズや地域のまちづくり活動と連動した支援・啓発プログラムを継続して実施する予定。

事業№.10

平成 30 年度事業報告（総務企画課）

みんなのまちづくり情報発信事業

１　事業実施内容

転入者の視点で作成した冊子や、一目で中央区と区別できる封筒を作成し中央区の魅力を発信する

①ウェルカム中央区

子育て世代の転入者に対し、歓迎の気持ち及び、中央区の特徴や子育ての有益な情報を伝える冊子を作成する。　H31 年３月末発行予定。

配付数：6,000 部（4 種類の多言語版 1,000 部含む）

②中央区封筒作成事業（福祉課、総務企画課）

区民が一般の郵便物と区役所から郵送する重要な郵便物を混同することなく見分けることができるように、中央区で使用する封筒にデザインを施す。

イメージ図



２　事業の成果

①転入者と地域のつながる機会の創出。転入者の不安軽減。
　中央区のイメージ向上。

②中央区から発送される郵便物の受取・開封が図られ、確実な情報

３　次年度に向けて

転入してきた方が「中央区に引っ越してきて良かった」、以前お住まいの方が「ずっと中央区に住み続けたい」と感じていけ
今回作成した冊子や封筒をはじめ、中央区の魅力を発信していく。

事業№.１１

平成 30 年度事業報告（総務企画課）

中央区スポーツ交流事業

１　事業実施内容

「第１回熊本中央区親善グランドゴルフ大会」を実施

日　時　平成 30 年 11 月４日（日）
場　所　白川中学校グラウンド
主　催　熊本市中央区体育協会・熊本市中央区役所
その他　中央区管内の１４校区から 30 チーム、
　　選手 180 名、スタッフ約 60 名が参加。

２　事業の成果

・参加者が和気あいあいとグラウンドゴルフを楽しみ、校区内の親睦が深められ、他校区との交流が図られた。
・大会の運営に当たっては、スポーツ推進員の協力、中央区管内の企業からの商品の提供など、地域が一丸となり大会を盛り上げることとなった。





３　次年度に向けて

93 歳の最高齢選手の方をはじめ、性別、年齢を問わず誰もが気軽に参加できるスポーツであるため、継続を希望する声が多く、次年度もグランドゴルフ大会を実施予定。

11 月の第１日曜日を「中央区スポーツ交流事業の日」として定着させ区民の交流の機会をつくるとともに、心身の健康増進も図りたい。

事業№.１２

平成３０年度事業報告（総務企画課）

中央区地域コミュニティづくり支援補助金

１　事業実施内容

魅力あるまちづくりを推進する地域団体の取り組みを財政的に支援する。

① 地域課題対応事業　（申請 11 件　交付決定 7 件）

地域住民が主体的かつ継続的に行う、地域課題解決のための公益性を有する取り組みを支援する。

対象団体：校区自治協議会及びその構成団体、町内自治会

補助率及び補助上限額：補助対象経費の 1/2　補助上限額 20 万円

② 地域魅力アップモデル事業　（申請２件　交付決定２件）

中央区が目指す「自主自立のまちづくり」に寄与する先進的、模範的事業に取り組む団体の挑戦を支援する。

対象団体：校区自治協議会及びその構成団体、町内自治会、
地域コミュニティ活動を行う団体

補助率及び補助上限額：補助上限額毎年 100 万円

補助対象経費の（1 年目）2/3（2 年目）1/2（3 年目）1/3

審査の方法：審査会により審査し、補助金予算額の範囲内で交付決定団体及び補助金額を決定する

２　事業の成果

- 地域の連帯感に基づく自治意識醸成
- 住民の身近な課題解決
- 地域コミュニティの活性化
- お互い様で支えあえる地域づくりの推進

３　次年度に向けて

地域活動のモデルとなるような事業を発掘し、団体の活動の成果が地域に還元できるよう継続して助言や支援を行う。また、地域ニーズの高い住民にとって身近な課題を解決するような事業についても支援を続けていく。

≪取り組み事例≫

①	地域課題対応事業【託麻原校区社会福祉協議会】 つながろう託麻原～サロン大交流会を通して、新しい機能の構築～

託麻原校区は「ひとつの町内に一サロン」を目標に、サロン立ち上げを行い、14 町内中 13 町内にサロンができた。個々のサロン運営に特徴があり、それぞれに課題や悩みを抱えているため、サロン同士の情報交換を行うことで、息の長いサロン活動を続けていきたい思いがある。様々な形のサロン運営について意見交換をし、サロンを活かして「ずっと住み続けたい校区」づくりの実現に向けたサロン大交流会を実施した。



②	地域課題対応事業【大江校区第３町内自治会】 住民相互で支えあう自立した防災・防犯まちづくり事業

当該町内では、ここ数年防災・防犯の取り組みに力を入れており、とりわけ熊本地震を契機に、一層の災害・犯罪に強いまちづくりに取り組んでいる。コミュニティの形成や互いの顔がわかる関係作りといったソフト面での取り組みは充実しているが、ハード面での整備が不十分であった。集団回収等により自主財源の獲得に努めるとともに、本補助金を活用して、夜間の避難訓練等を想定した発電機や LED 照明等を購入。

③	地域魅力アップモデル事業【熊本転入ママの会　くまてん】 転入したいまち、永住したいまち、私のまち、僕のまち！！

子育て世代の転入者を対象として、ウェルカム会の実施や子育てマップの配布等を行い、中央区で暮らすために有益な情報を共有する。毎日を不自由なく、不便なく楽しく過ごすことができるような取り組みを行い、熊本に転入してきてよかった、永住したいという人を増やす。今後は、ホームページのバナー広告や企業とのタイアップにより、資金を調達しつつ、事業をパッケージ化して他校区でも他団体でも実施できるようマニュアル化する。



事業No.13

平成 30 年度事業報告（総務企画課）

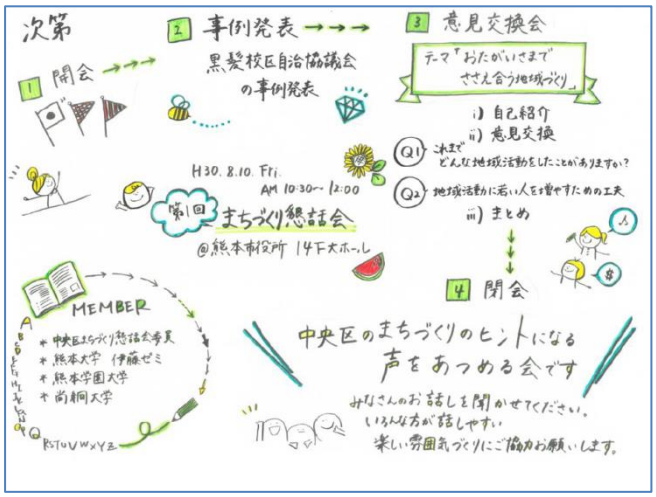
中央区まちづくり懇話会

１　事業実施内容

区の施策やまちづくりに関する情報の積極的な提供を行い、委員各位の多角的な視点からの活発な協議を実現し、区政に有用な意見を吸い上げる。

２　事業の成果

◆第１回まちづくり懇話会（８月 10 日実施）





大学生、懇話会委員、中央区職員が「地域の担い手不足について」それぞれの立場で、率直な意見交換を行い、地域活動に若い人を増やすための工夫を話し合った。

出席者　　委員１５名
　　中央区管内の大学に通う学生　１８名

内　容　　◆黒髪校区自治協議会の事例発表
　　◆まちづくり推進事業報告
　　◆ 意見交換　「おたがいさまで ささえ合う地域づくりについて」

◆中央区まちづくり講演会（10月1日実施）





「つながって、支えられたり、支えたり」をテーマに、いろいろな人がつながり、助け合い、共生する地域づくりをテーマに、高齢者を地域で支える仕組みづくりについて情報提供を行った。

◆第２回まちづくり懇話会（３月１４日実施予定）

・まちづくり事業について

・２年間の振返り

３　次年度に向けて

区民の意見を区政に活かすため、区民の意見を広く拾い上げ・深く議論するような体制となるように懇話会の見直しを行う。